

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 23 日

事務事業名		くらしのガイドブック更新事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	060101000264
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	010201
		0601 市民協働のまちづくり			主要事業		企画課	
政策体系		政策名			市長マニフェスト		グループ	
		06 みんなで築く自治のまちづくり			未来PJ事業		企画グループ	
		施策名			合併建設計画事業			
		01 市民協働のまちづくり			事業期間			
		手段名			単年度繰返し (平成17年度~)			
		01 ①広報広聴の充実			期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
財務会計上の位置付け								
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	
法令根拠								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 協働発行事業者の選定 掲載情報のとりまとめ 変更内容のホームページへの掲載 	発行回数	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	変更内容のホームページへの掲載回数	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民 市外からの転入者	桜川市人口	人	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00	0.00
	転入者 (H29.2現在)	人	676.00	800.00	800.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
行政情報を市民に提供する。	行政の情報が十分に提供されていると感じる割合	%	39.00	40.00	40.00	40.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0
		県支出金	千円	0	0
		地方債	千円	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0
		その他	千円	0	0
		一般財源	千円	0	0
	事業費計 (A)	千円	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人
	述べ業務時間	時間	20.00	20.00	20.00
	人件費計 (B)	千円	59	59	59
トータルコスト (A)+(B)		千円	59	59	59

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	くらしのガイドブック更新事業	事務事業No.	60101000264	所属課	企画課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
合併に伴い住所等の表記、行政サービス、行政組織、施設の名称等に変更が生じたため、窓口の業務、福祉、保健衛生、教育等をまとめた「桜川市くらしのガイドブック」を平成17年9月に発行した。その後も行政情報を市民にわかりやすく提供するため、平成23年7月に株式会社サイネックスと、平成27年3月に株式会社センリンと協働で発行した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
広告事業者から、毎年広告を掲載することは難しいため、数年使える冊子にした方が良いとの意見があった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	「桜川市くらしのガイドブック」は冊子であり、掲載できる情報量が限られるため、次回の発行時にはホームページと連携することにより、成果向上を図る。 「桜川市くらしのガイドブック」は、事業者からの広告料により発行しており、毎年度同様の条件で発行する場合、広告事業者が少なくなる可能性が高い。そのため、数年間活用できる冊子にするか、毎年発行できるための仕組みを考える必要がある。ホームページとの連携は、次回の発行時に向けて準備する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民への行政情報の提供であり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民と行政が協働してまちづくりを行うため、住民との情報共有を図る必要がある。	
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市ホームページと連携することにより、わかりやすい情報提供につながる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市役所の窓口業務や各種手続き等をまとめた情報提供の媒体が市ホームページのみとなる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 ホームページ運用事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 市ホームページと連携することにより成果向上が見込まれる。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 広告収入により発行するため、予算は計上していない。必要最低限の業務量であり、削減の余地はない。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全戸に配付するため、公平・公正である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成26年度は、市制施行10周年を記念して「桜川市くらしのガイドブック」を発行した。協働発行事業者をプロポーザルにより株式会社センリンを選定し、行政情報のほか、災害時における避難場所やAEDの設置場所がわかる地図など、災害時に役立つ情報も掲載した。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果																			
		コスト削減優先度評価結果																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>